



浜下りで御輿を担ぐ男衆

最大の見どころは、曲がりくねった急な山道を男衆が御輿を担いで下る「どんひら坂下り」。成人男性約

一行が清められ、巡行を迎える七浦といわれる途中の各集落では、無病息災や豊漁を祈願する神事が地元民総出で盛大に執り行われます。

本土最南端佐多岬に位置し、悠久の歴史を持つ御崎神社。古くからこの神社に伝わる御崎祭りは、新暦2月20日頃、春を告げる祭りとして南大隅町に受け継がれてきました。

無病息災や豊漁を祈願
本土最南端の伝統行事



難所であり、最大の見どころでもある「どんひら坂下り」の様子

10人がかりで大切に担ぎながら、急斜面を下ります。坂の下ではお面をかぶった先導役の子どもたちが出迎え、妹神は案内に導かれ、近津宮神社近くに作られた仮宮で一晩を過ごします。二日目、ようやく妹神と姉神は近津宮神社で再会します。その後、太鼓と笛の音に合わせ、御輿、傘の団が境内を練り歩き、御神酒がまかれ、祭りは観客と一体となり最高の盛り上がりを迎えます。

【南大隅町】

佐多の御崎祭り

県指定無形民俗文化財

大隅に春を告げる南大隅町の伝統行事「佐多の御崎祭り」をご紹介します。

祭りの舞台

御崎神社

開催日：新暦の2月20日前後の土日
 (1日目) 平成31年2月16日(土) 6時30分頃～
 (2日目) 平成31年2月17日(日) 12時30分頃～
 住所：南大隅町佐多馬籠415-口
 駐車場：40台 無料(佐多岬公園観光案内所前駐車場)
 TEL：0994-24-3164(南大隅町教育委員会)

